

製造業から物流、食品、包装まで、自動化の未来が見つかる



2025年日本最大級の工作機械見本市

MECT 2025

メカトロテック ジャパン 2025

MECHATRONICS TECHNOLOGY JAPAN

2025 **10.22 WED - 25 SAT**

ポートメッセなごや 10:00-17:00 25日(土)は16:00まで

大人1人1,000円(税込) 10人以上の団体は1人500円(税込) 公式Webサイトからの事前登録者・海外来場者・学生は無料

工作機械、組立・板金加工機、射出成形機、3Dプリンター、機械工具、のこぎり、切削工具、工作機、測定機、試験機、研削砥石、研磨材、油圧・空圧・水圧機、自動車・産業用車、環境・安全対応機器、CAD/CAM/CAE、制御装置、関連ソフトウェア、産業用ロボット、搬送装置、洗浄機械装置、品質管理・安全・試験認証機関、新素材、マイクロマシン、ナノテクノロジー関連など

主催：(株) ニュースダイジェスト社 共催：愛知県機械工具商業協同組合

<https://mect-japan.com/2025>

ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2026

次回開催予定
2026年 初夏

問い合わせ先

RTJ事務局 (株)ニュースダイジェスト社 〒464-0075 名古屋市千種区内山 3-5-3
Tel: 052-732-2455 Fax: 052-732-2457 Email: info@robot-technology.jp



アイデアは 現場だけでは生まれない。

#1パーセントのひらめき

結果報告書

—Final Report—

産業用ロボット・自動化システムの専門展

ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024

ロボットテクノロジージャパン

期間

2024.7.4(木) - 6(土)

開催場所

Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場)

開催時間

10:00-17:00

入場料

大人1人 1,000円

ただし、公式ウェブサイトからの事前登録者、海外来場者、学生は無料

【主催】(株) ニュースダイジェスト社 【共催】愛知県機械工具商業協同組合

1. 開催概要

ご挨拶

ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024は、2024年7月4日(木)から6日(土)の3日間、Aichi Sky Expoにて開催され、皆様の格別のご協力、ご支援により盛況に閉幕いたしました。

出展者数は244社・団体、1,320小間で、Aichi Sky ExpoのホールC、D、Eを使用しました。来場者数は目標の45,000人を超える46,405人と多くの来場者をお迎えすることができました。

今回のROBOT TECHNOLOGY JAPANは、2026年初夏にAichi Sky Expoで開催する予定です。より一層内容を充実させるべく努力して参りますので、さらなるご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

株式会社 ニュースダイジェスト社
愛知県機械工具商業協同組合



名称	ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024 (略称: RTJ2024)
会場	Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場)
開催期間	2024年(令和6年)7月4日(木)～6日(土)の3日間
開場時間	10:00～17:00 ※最終日6日(土)は16:00まで
入場料金	1人1,000円 / 団体10人以上1人500円(いずれも消費税込) ただし、事前登録者、海外来場者、学生は無料
主催	(株) ニュースダイジェスト社
共催	愛知県機械工具商業協同組合
後援	経済産業省、愛知県(順不同)
協賛	(一社) 日本ロボット工業会、(一社) 日本ロボットシステムインテグレータ協会、(一社) 日本工作機械工業会、(一社) 日本工作機器工業会、(一社) 日本フルードパワー工業会、日本精密測定機器工業会、日本工作機械販売協会、(一社) 日本物流システム機器協会(順不同)
出展製品	垂直多関節・水平多関節・パラレルリンク・直交・協働など各種産業用ロボット、ガントリーローダー、AGV/AMR、自動倉庫、ソーター、マテハン装置・機器、ピッキングシステム、その他物流機器、各種ハンド、ロボット構成部品、周辺機器、各種センサー・制御機器、ソフトウェア、AI・IoT関連装置およびシステム、ロボット搭載機械・装置、自動化技術提案 など ※サービスロボットや介護ロボットなどは対象外です
出展製品の用途	溶接、研磨、ハンドリング、検査、塗装、バリ取り、搬送、特殊作業、成形品取り出し、組み立て、はんだ付け、パワーアシスト、包装、洗浄、ピッキング、生産効率向上・省人化関連システム など
展示規模	出展者数 244社・団体 / 出展小間数 1,320小間
来場者数	46,405人
セミナー主催企画	<ul style="list-style-type: none"> ● 基調講演 7/4(木) ロボットが現場を変える ● 併催イベント 7/5(金) WRS2025開催記念シンポジウム 7/5(金) Sler's Day in 中部(愛知) ● 特別セミナー 7/6(土) ロボットでこんなことも!最新活用法 ● 産業用ロボット体験ゾーン

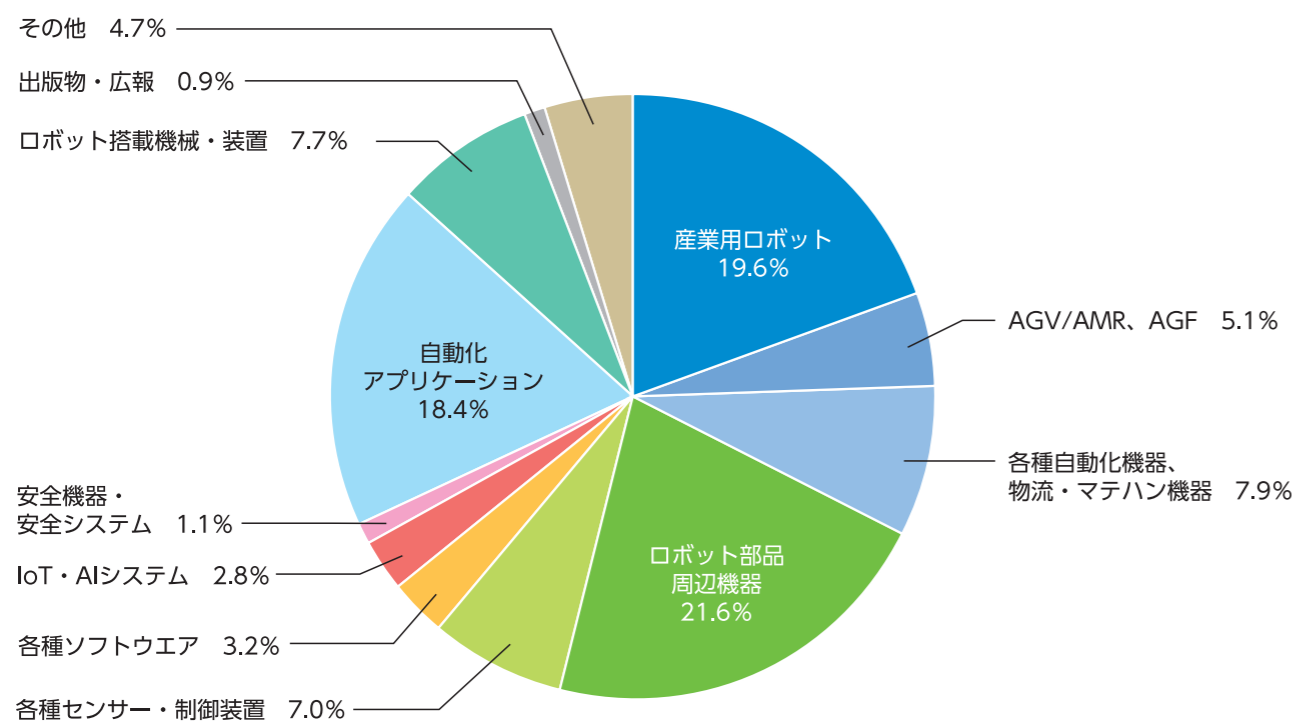
2. 展示規模と出展分野

展示規模

展示会場はホールC・D・Eを使用し、244社・団体、1,320小間での開催となりました。

	出展者数	出展小間数
今回展	244社・団体	1,320小間
前回展	202社・団体	1,096小間

展示分野別割合



分野	割合
産業用ロボット	19.6
AGV/AMR、AGF	5.1
各種自動化機器、物流・マテハン機器	7.9
ロボット部品・周辺機器	21.6
各種センサー・制御装置	7.0
各種ソフトウェア	3.2
IoT・AIシステム	2.8
安全機器・安全システム	1.1
自動化アプリケーション	18.4
ロボット搭載機械・装置	7.7
出版物・広報	0.9
その他	4.7
合計	100.0

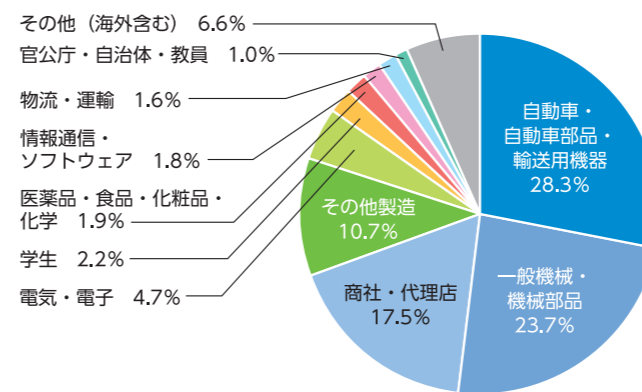
(単位：%)

3. 来場者について

来場者数

日付	月日(曜)	天候	合計 ※括弧内は前回展実績
1	7/4(木)	晴れ	16,513人 (14,887人)
2	7/5(金)	晴れ	20,782人 (18,320人)
3	7/6(土)	晴れ	9,110人 (8,673人)
合計			46,405人 (41,880人)

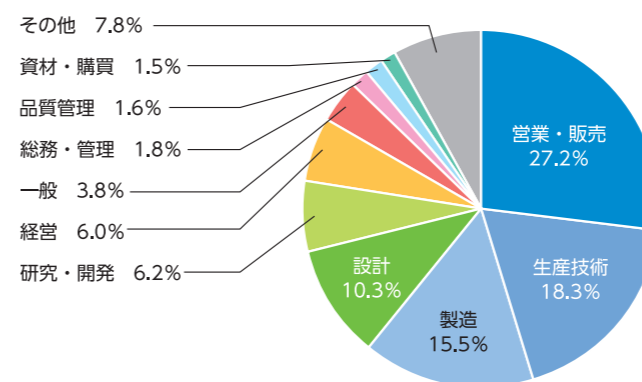
業種別来場者分析



業種	割合
自動車・自動車部品・輸送用機器	28.3
一般機械・機械部品	23.7
商社・代理店	17.5
その他製造	10.7
電気・電子	4.7
学生	2.2
医薬品・食品・化粧品・化学	1.9
情報通信・ソフトウェア	1.8
物流・運輸	1.6
官公庁・自治体・教員	1.0
その他(海外含む)	6.6
合計	100.0

(単位：%)

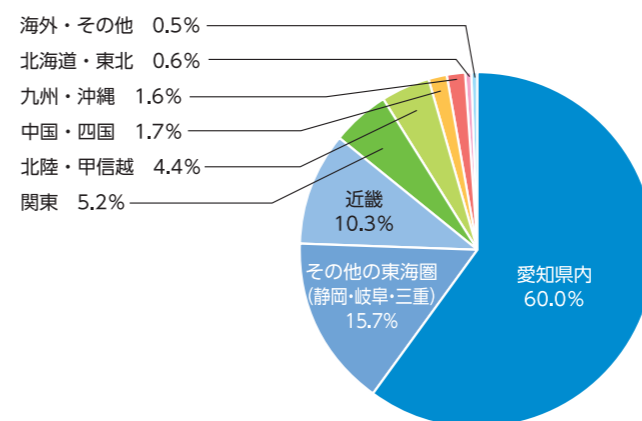
職種別来場者分析



職種	割合
営業・販売	27.2
生産技術	18.3
製造	15.5
設計	10.3
研究・開発	6.2
経営	6.0
一般	3.8
総務・管理	1.8
品質管理	1.6
資材・購買	1.5
その他	7.8
合計	100.0

(単位：%)

来場者地域分析

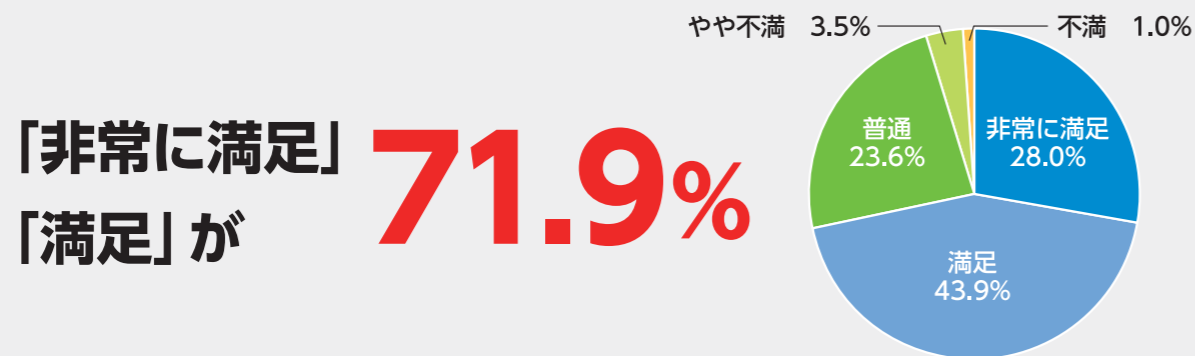


地域	割合
愛知県内	60.0
近畿	10.3
関東	5.2
北陸・甲信越	4.4
中国・四国	1.7
九州・沖縄	1.6
北海道・東北	0.6
海外・その他	0.5
合計	100.0

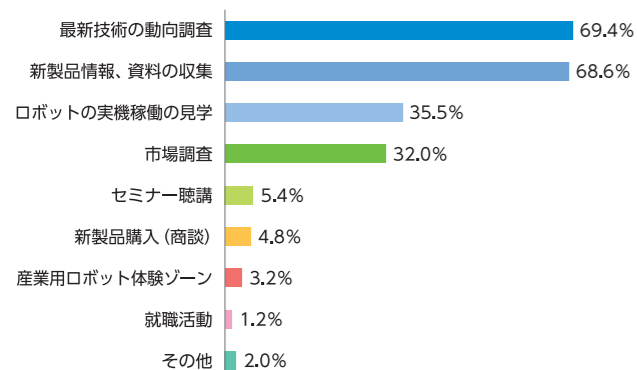
(単位：%)

4. 来場者アンケート

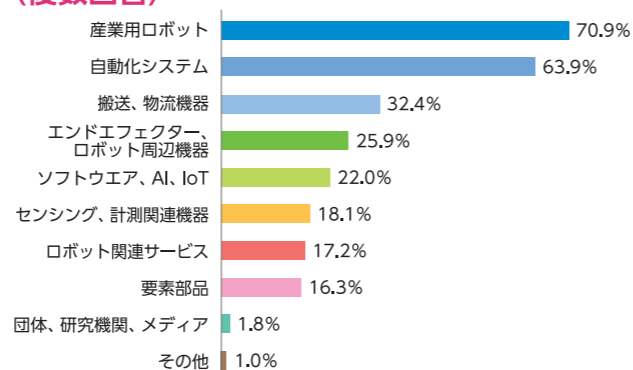
展示会の満足度について (回答数2,965人)



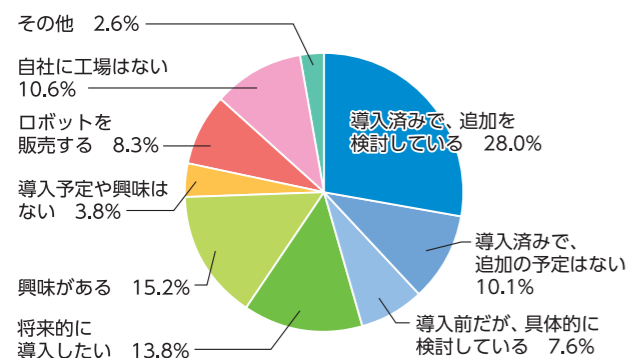
来場の目的は何ですか? (複数回答)



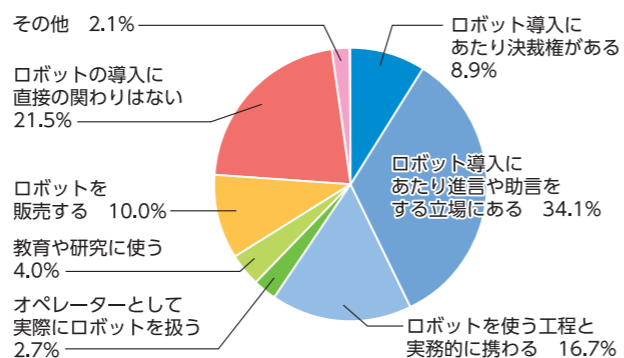
どの製品に興味があり来場しましたか? (複数回答)



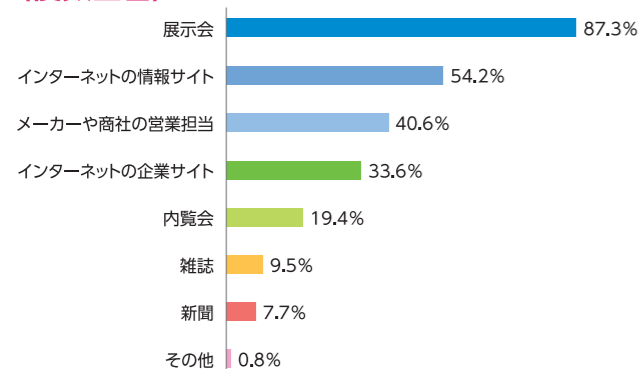
勤務先の工場や研究所での産業用ロボットの導入状況は?



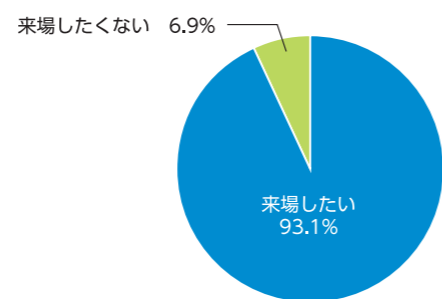
ロボットの導入に関してあなたの立場を教えてください



機械設備の情報収集方法を教えてください (複数回答)

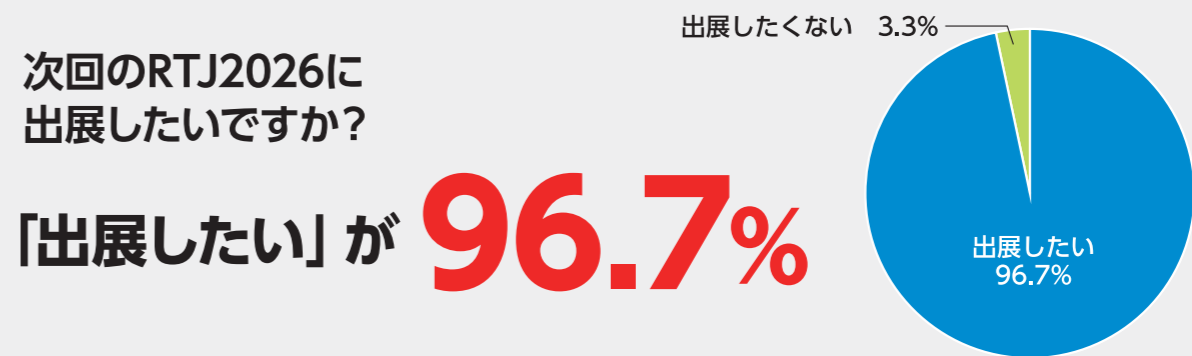


次回展に来場したいですか?

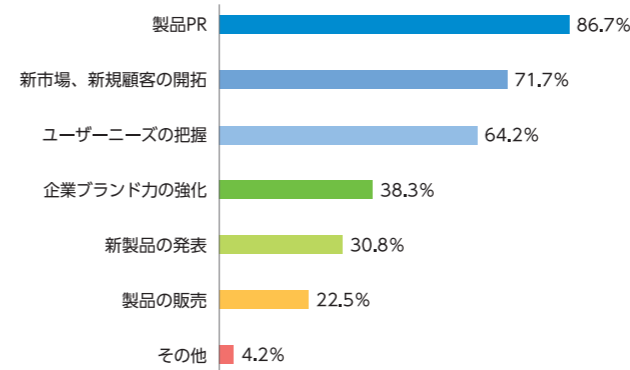


5. 出展者アンケート

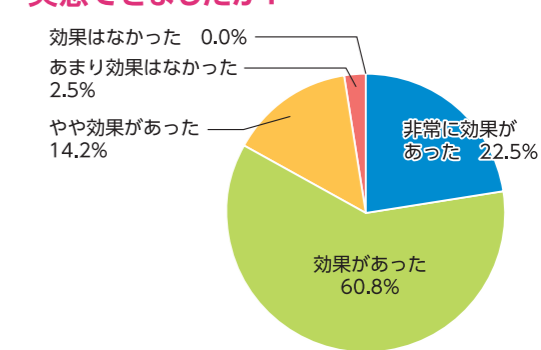
次回出展について (回答数170社)



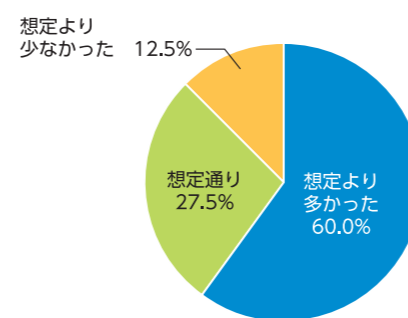
本展への出展目的は何ですか? (複数回答)



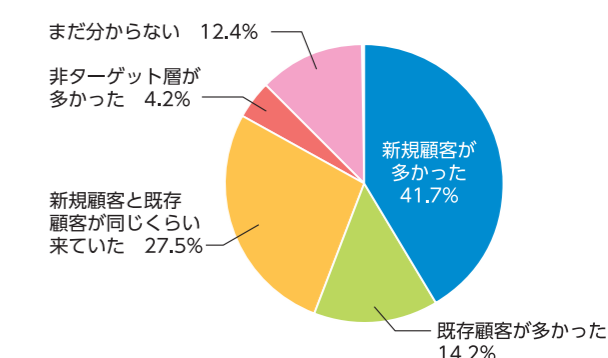
出展によるPR、販売促進効果は実感できましたか?



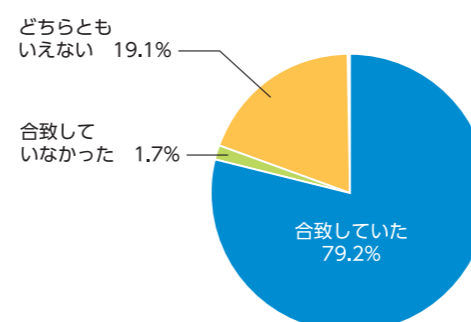
貴社ブースへの来場者数は実際の想定と比べていかがでしたか?



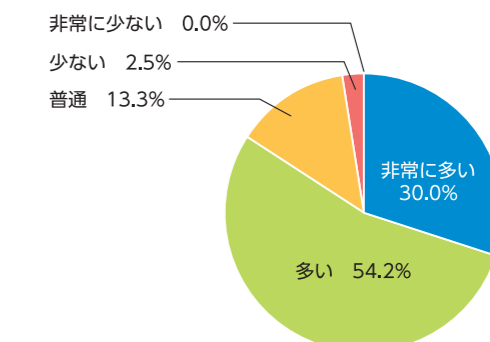
貴社ブースを訪れた来場者層を教えてください



来場者は貴社の対象に合致していましたか?



全体の来場者数についてどう評価されますか?



6. 開会式／主催者セミナー・企画／併催イベント

開会式 日時／7月4日(木) 9:30～10:00 会場／メインステージ(ホールC) **出席者数 152人**



登壇者／愛知県 副知事 **古本 伸一郎** 様
 経済産業省 製造産業局産業機械課ロボット政策室長 **石曾根 智昭** 様
 日本ロボット工業会 副会長 **太田 裕之** 様
 ファナック 代表取締役社長兼CEO **山口 賢治** 様
 ニュースダイジェスト社 代表取締役社長 **樋口 八郎**
 愛知県機械工具商業協同組合 副理事長 **高田 研至**

主催者セミナー・企画／併催イベント

主催セミナー 基調講演 ロボットが現場を変える

最新のロボットシステムは、プログラム通りの作業を再現するだけでなく、自ら判断し行動する領域に到達しつつあります。製造の現場でも倉庫内物流の現場でも、一品物や変種変量が当たり前になっており、自律的に動作するロボットシステムの登場は、生産性向上や人手不足解消のために必要不可欠な要素と言えるでしょう。ロボット業界をけん引するフロントランナーが、最新のロボットシステムが製造や物流の現場にもたらす変化について語りました。

講演① 安川電機が考える未来工場 ～進化する姿～ **出席者数 254人**



登壇者 安川電機 上席執行役員 中国統括 ロボット事業部長 **岡久 学** 氏
 日時 7月4日(木) 13:00～14:00
 会場 メインステージ(ホールC)

講演② ソフトウェア次第で自動化設備能力が数倍変わる時代到来 知能統合プラットフォームが実現した次世代DX工場/倉庫 **出席者数 221人**



登壇者 Mujin CEO兼共同創業者 **滝野 一征** 氏
 日時 7月4日(木) 14:30～15:30
 会場 メインステージ(ホールC)

併催イベント ① WRS2025開催記念シンポジウム **出席者数 217人**



～ロボットとAIによるモノづくりの未来～
 ロボットやAIが製造現場をどう変えていくのか、今後期待される「モノづくりの未来」について、業界のフロントランナーから講演いただきました。また、「モノづくりの未来」実現のためのそれぞれの現場での技術活用や「World Robot Summit」が果たす役割などについて、パネルディスカッションにて語り合いました。
 主催：愛知県
 日時 7月5日(金) 10:30～12:30
 会場 メインステージ(ホールC)

併催イベント ② Sler's Day in 中部(愛知) **出席者数 237人**

ロボットのシステムインテグレーター(Sler、エスアイアール)の団体である日本ロボットシステムインテグレータ協会が、Sler同士やSlerとロボット導入検討企業が交流を図るためのイベント「Sler's Day in 中部(愛知)」を開催しました。



プログラム 基調講演「ロボット導入のポイント」
 Sler協会教育プログラムの紹介
 Sler協会活動紹介
 行政からの取り組み・施策紹介
 Sler企業紹介
 主催：日本ロボットシステムインテグレータ協会
 共催：ニュースダイジェスト社
 日時 7月5日(金) 13:30～16:30
 会場 メインステージ(ホールC)

主催セミナー ロボットでこんなことも!最新活用法

「こんなに狭いところでロボットは使えないだろう」——そんなこと、ないかもしれませんよ。世界大手の航空機メーカーの事例が参考になるでしょう。「ロボットのどこがすごい?」——まずゲーム感覚で使ってみては?非エンジニアでも参加できるロボット競技があります。会期最終日は、ロボットへの先入観を覆したり、素朴な疑問に応える2つのセミナーを実施しました。

特別セミナー① 狭小スペースにおける作業自動化への挑戦 **出席者数 194人**



登壇者 ボーイングジャパン 先端技術・ロボティクスエンジニア **ハテム・アブデルハミード** 氏
 日時 7月6日(土) 10:30～11:15
 会場 メインステージ(ホールC)

特別セミナー② 地域のエンジニアが地域の子どもたちを育成する 次世代エンジニア育成プログラム **出席者数 118人**



登壇者 次世代ロボットエンジニア支援機構 代表理事 **川節 拓実** 氏
 日時 7月6日(土) 11:30～12:15
 会場 メインステージ(ホールC)

主催企画 産業用ロボット体験ゾーン

各種ゲームを通じて、産業用ロボットへの理解を深めてもらうためのコーナーを設置しました。ロボットとの射的対決やクレーンゲームなど、身近な体験の中にロボットが存在することで、その動作精度や再現性の高さを実感していただきました。



- ① デジタルトレーナー 協力：日本ロボットシステムインテグレータ協会(三明機工)
 - ② 習字ロボット 協力：中部地域Sler連携会(豊電子工業)
 - ③ 3Dスイスイボード 協力：中部地域Sler連携会(近藤製作所)
 - ④ ロボット射的対決 協力：中部地域Sler連携会(田口鉄工所・近藤製作所)
 - ⑤ ロボット実習体験装置 協力：中部地域Sler連携会(バイナス)
 - ⑥ MR(複合現実)体験 協力：中部地域Sler連携会(エヌテック)
 - ⑦ 双腕ロボットクレーンゲーム 協力：中部地域Sler連携会(スターテクノ)
 - ⑧ フリスビーの当て競争 協力：次世代ロボットエンジニア支援機構
- 会場 産業用ロボット体験ゾーン(ホールE)

7. 来場促進に向けた活動 (パブリシティ・掲載誌・広報・宣伝)

宣伝広告

●新聞、雑誌、ウェブなどの広告媒体への出稿

数多くの有力な産業誌をはじめ、全国誌や業界誌などに幅広く掲載しました。

新聞 広告			
掲載日	媒体名	掲載日	媒体名
6/5	日本産機新聞	6/20	中部機工新聞
6/10	日本物流新聞	6/25	日本物流新聞
6/12	日刊工業新聞	6/26	日本経済新聞 (中部)
6/12	中部経済新聞	6/27	日刊工業新聞
6/16	名古屋機工新聞	6/27	中部経済新聞
6/18	日本経済新聞 (中部)	7/2	日本経済新聞 (中部)
6/19	中部経済新聞	7/3	中部経済新聞
6/20	日刊工業新聞	7/3	中日新聞

雑誌 広告	
掲載日	媒体名
5月号	ロボット (ロボット工業会機関紙)
5月号	日工販 NEWS
6月号	日経ものづくり
6月号	月刊食品工場長
6月号	月刊ロジビズ
6/15	P&M 通信 (日本包装機械工業会機関紙)
6/28	P&M 通信 (日本包装機械工業会機関紙)

WEB 広告	
掲載日	媒体名
5/20~7/5	エクスリード ディスプレイ広告
5/20~7/4	Google 広告
5/20~7/4	YouTube 広告
5/20~7/4	Facebook 広告
5/20~7/4	Instagram 広告
6/3~7/4	MONOist パナー広告
6/5~7/5	ロポスタ パナー広告
6/17~7/3	日経電子版 Run of NIKKEI



【日経電子版パナー広告】

●交通広告やテレビCM、Youtube広告

テレビCMや交通広告、Youtube広告などでも積極的にPRをしました。

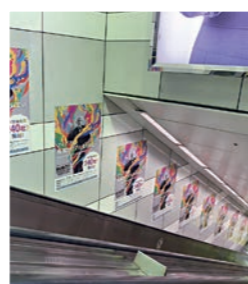
電波 広告	
テレビ	ラジオ
東海テレビ	東海ラジオ
CBCテレビ	CBCラジオ
メ〜テレ	FM愛知
中京テレビ	ZIP-FM
テレビ愛知	



公式プロモーション CM

YouTube 再生回数 **438,510回**
(2024年5月30日~7月11日)

交通 広告	
掲載場所	
名古屋駅コンコース	シリーズアドビジョン
金山駅エスカレーター側壁	広告
名鉄名古屋駅デジタルサイネージ	
名鉄車内吊り (全線)	
JR車内吊り	
愛知環状鉄道車内吊り	
JR刈谷駅貼り	
愛知環状鉄道 三河豊田駅貼り	



【名鉄名古屋駅デジタルサイネージ】

【金山駅エスカレーター側壁】

【名古屋駅コンコースシリーズアドビジョン】

メディアによる紹介

会期前の広告のみならず、多くのメディアがROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024の特集記事を掲載しました。会期中には愛知のテレビニュース番組やラジオでも紹介されました。



【月刊生産財マーケティング2024年7月号】



【日刊工業新聞】2024年7月4日



【中部経済新聞】2024年7月4日

公式ウェブサイト

公式ウェブサイトでは、出展募集活動や出展企業製品情報の発信、最新情報の発信などをしました。また、オフィシャルメディア「robot digest」とコラボし、会場の最新情報や見どころをいち早くお届けする「会場速報」を配信しました。



公式ウェブサイト
アクセス数
1,162,552件
(2024年5月7日~7月6日)

【公式ウェブサイト】



【会場速報】

公式印刷物による紹介

会期前には、「開催案内セット (招待券、パンフレット)」としてダイレクトメールを送付し集客に注力。会場では、出展者一覧や出展製品情報を掲載した「公式ガイドブック」、「FLOOR MAP」を配布しました。



招待券



公式ガイドブック



FLOOR MAP

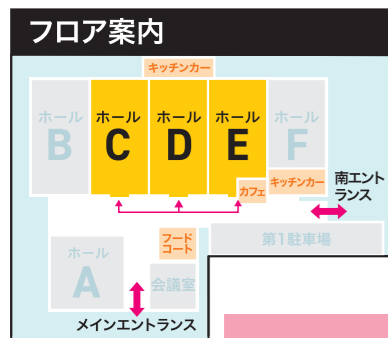


公式パンフレット

メールマガジンの配信

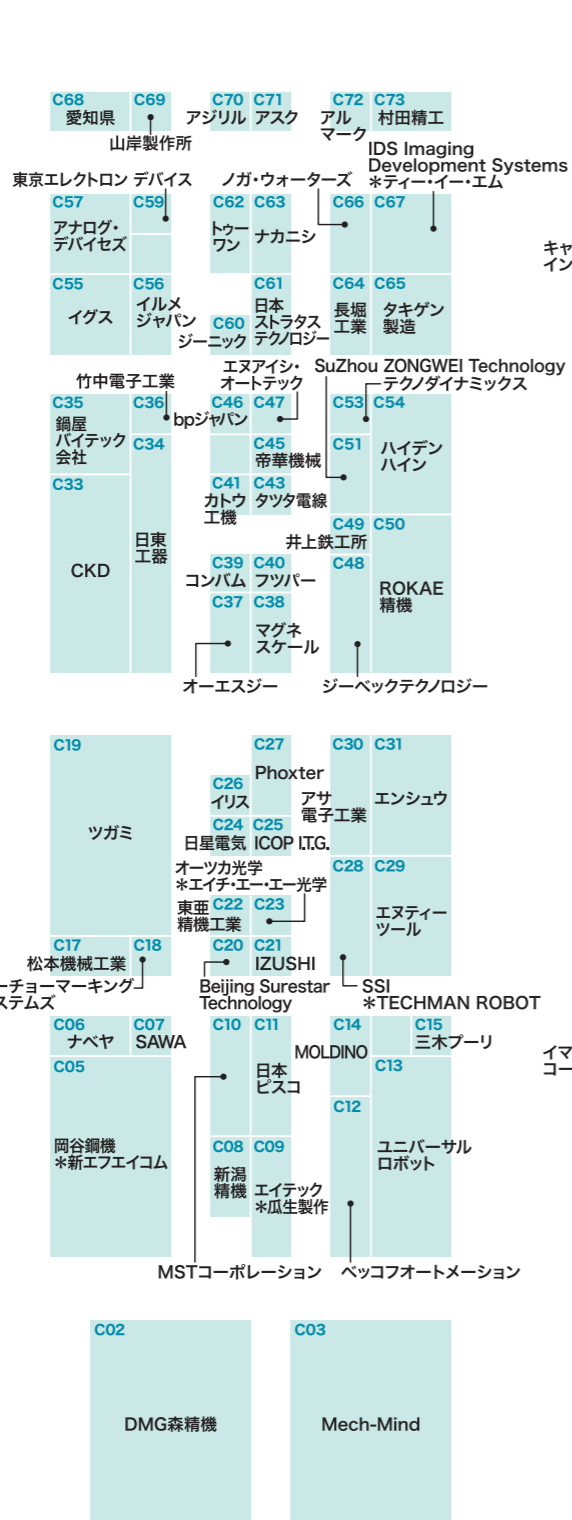
ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2022 とメカトロテックジャパンの来場者を対象としたメールマガジンを配信。また、各種媒体と連携しメルマガ広告を出稿し、公式ウェブサイトへの誘引を図りました。

主なメルマガ・メルマガヘッダー 広告					
掲載日	媒体名	掲載日	媒体名	掲載日	媒体名
4/1	RTJ メルマガ	6/11	RTJ メルマガ	6/26	RTJ メルマガ
5/7	RTJ メルマガ	6/17	日経クロステック 自動車・電機メールヘッダー広告	6/27	RTJ メルマガ
5/14	RTJ メルマガ	6/18	MONOist FA ニュース	6/28	RTJ メルマガ
5/21	RTJ メルマガ	6/18	RTJ メルマガ	7/1	RTJ メルマガ
5/28	RTJ メルマガ	6/19	L NEWS	7/2	RTJ メルマガ
6/4	RTJ メルマガ	6/20	RTJ メルマガ	7/3	RTJ メルマガ
6/6	L NEWS	6/21	日経 Automotive News ヘッダー広告	7/4	RTJ メルマガ
6/11	名古屋商工会議所	6/25	RTJ メルマガ	7/5	RTJ メルマガ

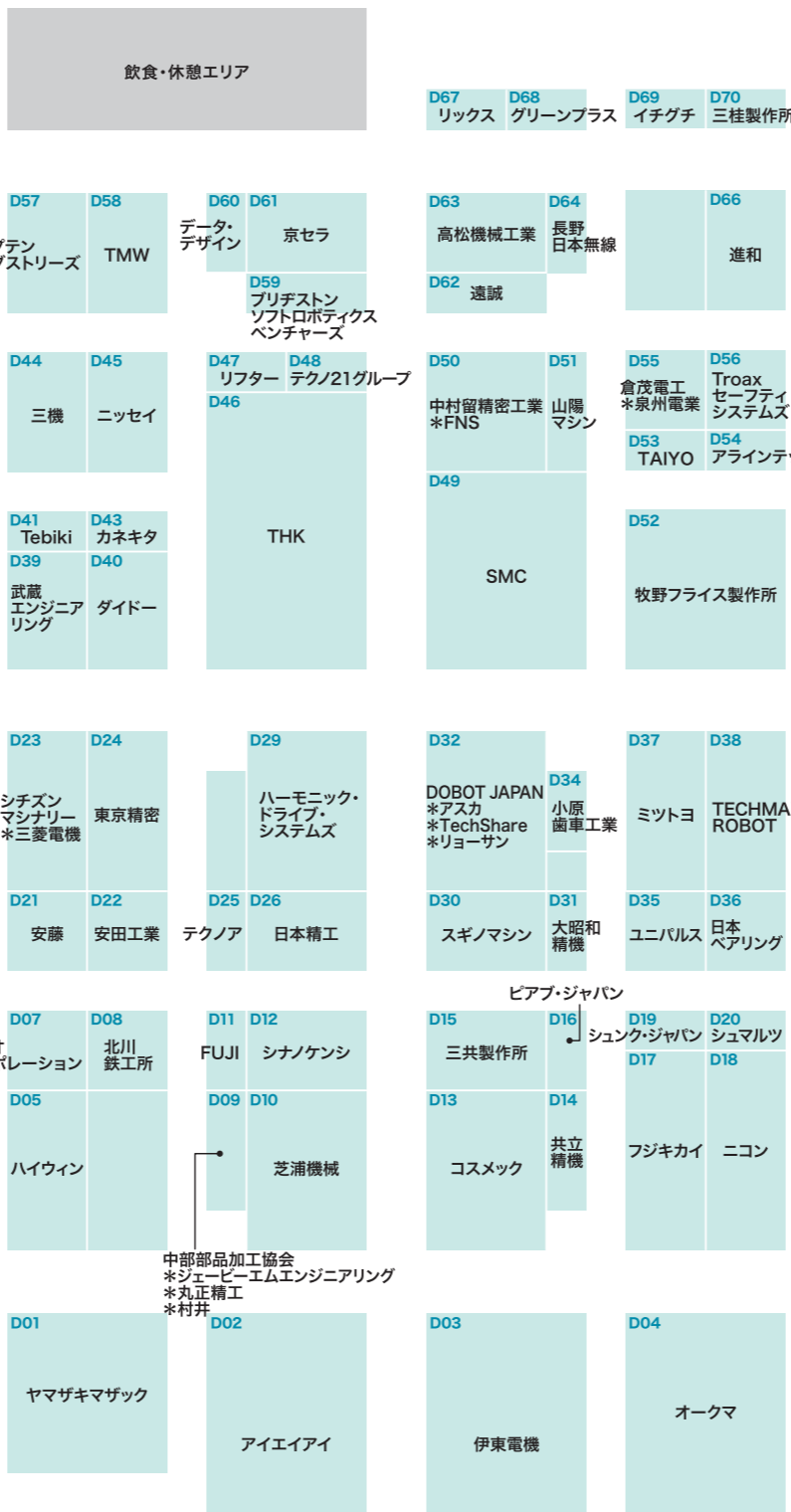


↑ 出入口 / Slerゾーン

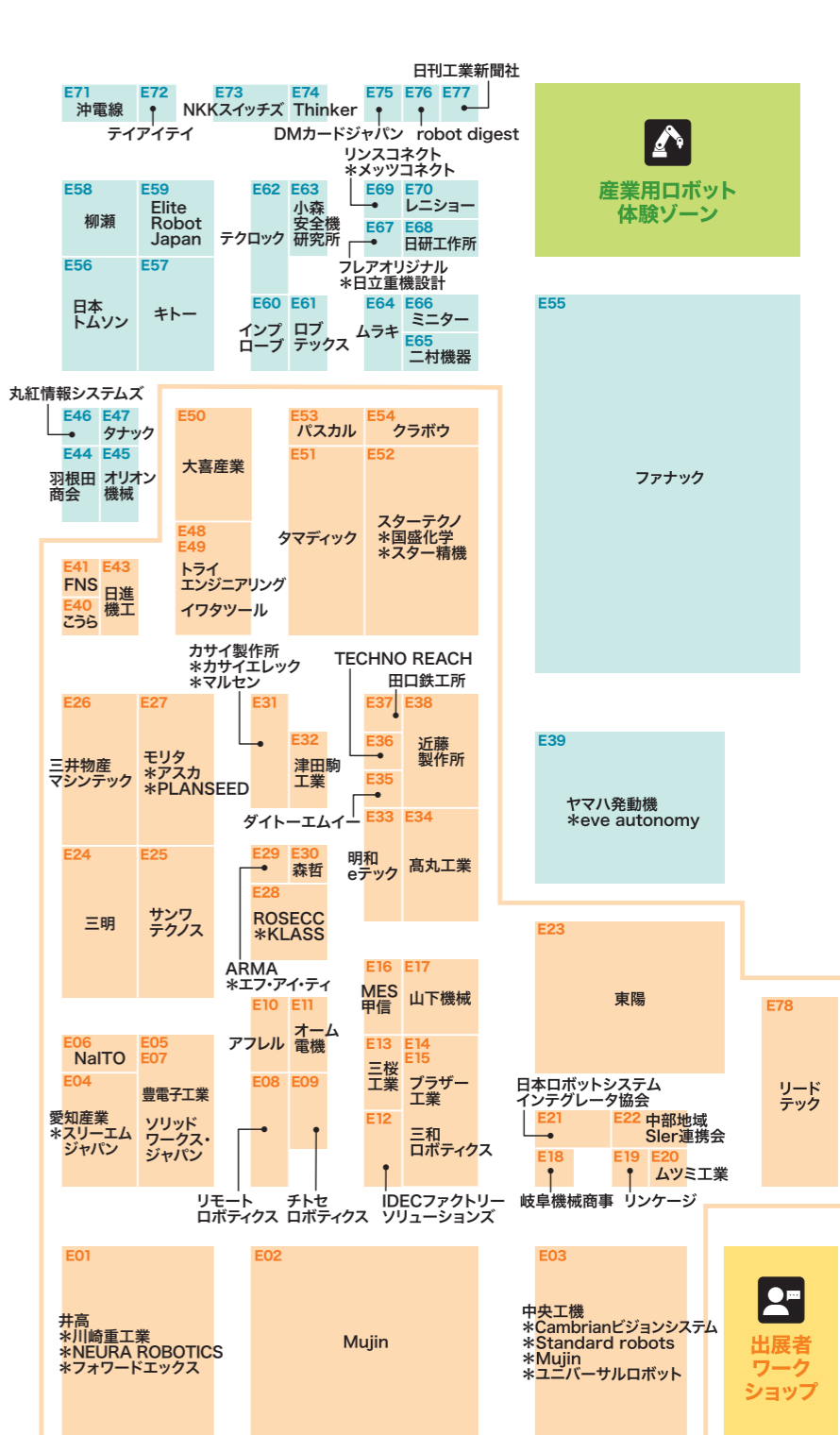
展示ホールC



展示ホールD



展示ホールE



9. 出展者一覧 (社名50音順)

出展者名	小間番号	出展者名	小間番号	出展者名	小間番号	出展者名	小間番号
あ							
アイエイアイ	D02	北川鉄工所	D08	中部地域Sler連携会	E22	ピアブ・ジャパン	D16
ICOP I.T.G.	C25	キトー	E57	中部部品加工協会		bpジャパン	C46
愛知県	C68	岐阜機械商事	E18	*ジェービーエムエンジニアリング	D09	ファンック	E55
愛知産業	E04	キャプテンインダストリーズ	D57	*丸正精工		Phoxter	C27
*スリーエム ジャパン		京セラ	D61	*村井		FUJI	D11
IDS Imaging Development Systems	C67	共立精機	D14	ツガミ	C19	フジキカイ	D17
*ティー・イー・エム		クラボウ	E54	津田駒工業	E32	二村機器	E65
IDECファクトリーソリューションズ	E12	倉茂電工	D55	ティアイティ	E72	フツパー	C40
アサ電子工業	C30	*泉州電業		THK	D46	ブラザー工業	E14
アジリル	C70	グリーンプラス	D68	DMカードジャパン	E75	ブリクストンロボティクスベンチャーズ	D59
アスク	C71	こうら	E40	DMG森精機	C02	フレアオリジナル	E67
アナログ・デバイス	C57	コスメック	D13	TMW	D58	*日立重機設計	
アフレル	E10	小原歯車工業	D34	帝華機械	C45	Beijing Surestar Technology	C20
アラインテック	D54	小森安全機研究所	E63	データ・デザイン	D60	ベッコフオートメーション	C12
ARMA	E29	近藤製作所	E38	テクノア	D25	ま	
*エフ・アイ・ティ		コンナム	C39	テクノダイナミクス	C53	牧野フライス製作所	D52
アルマーク	C72	さ		テクノ21グループ	D48	マグネスケール	C38
安藤	D21	SAWA	C07	TECHNO REACH	E36	松本機械工業	C17
イグス	C55	三桜工業	E13	テクログ	E62	丸紅情報システムズ	E46
IZUSHI	C21	三機	D44	TECHMAN ROBOT	D38	三木プーリ	C15
井高		三共製作所	D15	Tebiki	D41	三井物産マシンテック	E26
*川崎重工業	E01	三桂製作所	D70	デンソーウェーブ	C01	ミットヨ	D37
*NEURA ROBOTICS		三明	E24	東亜精工工業	C22	モニター	E66
*フォワードエックス		山陽マシン	D51	DOBOT JAPAN		武蔵エンジニアリング	D39
イチグチ	D69	サンワテクノス	E25	*アスカ	D32	Mujin	E02
伊東電機	D03	三和ロボティクス	E15	*TechShare		ムツミ工業	E20
井上鉄工所	C49	CKD	C33	*リョーサン		ムラキ	E64
イマオコーポレーション	D07	ジーニック	C60	トゥーワン	C62	村田精工	C73
イリス	C26	ジーベックテクノロジ	C48	東京エレクtron デバイス	C59	明和eテック	E33
イルメジャパン	E56	シチズンマシナリー	D23	東京精密	D24	Mech-Mind	C03
イワタツール	E49	*三菱電機		東陽	E23	モリタ	
インプローブ	E60	シナノケンシ	D12	トーヨーマーケティングシステムズ	C18	*アスカ	E27
エイテック	C09	芝浦機械	D10	トライエンジニアリング	E48	*PLANSEED	
*瓜生製作		シュマルツ	D20	Troaxセーフティシステムズ	D56	森哲	E30
SSI	C28	シュンク・ジャパン	D19	な		MOLDINO	C14
*TECHMAN ROBOT		Thinker	E74	NalTO	E06	や	
SMC	D49	進和	D66	ナカニシ	C63	安川電機	C32
エヌアイシ・オートテック	C47	SuZhou ZONGWEI Technology	C51	長野日本無線	D64	安田工業	D22
NKKスイッチズ	E73	スギノマシン	D30	長堀工業	C64	柳瀬	E58
エヌティーツール	C29	スターテクノ		中村留精密工業	D50	山岸製作所	C69
FNS	E41	*国盛化学	E52	*FNS		ヤマザキマザック	D01
MES甲信	E16	*スター精機		ナベヤ	C06	山下機械	E17
MSTコーポレーション	C10	ソリッドワークス・ジャパン	E07	銅屋パイテック会社	C35	ヤマハ発動機	E39
Elite Robot Japan	E59	た		新潟精機	C08	*eve autonomy	
エンシュウ	C31	大喜産業	E50	ニコン	D18	豊電子工業	E05
遠誠	D62	大昭和精機	D31	日刊工業新聞社	E77	ユニバーサルロボット	C13
オーエスジー	C37	ダイドー	D40	日研工作所	E68	ユニパルス	D35
オークマ	D04	ダイトーエムイー	E35	日進機工	E43	ら	
オーツカ光学	C23	ダイヘン	C04	ニッセイ	D45	リードテック	E78
*エイチ・イー・イー光学		TAIYO	D53	日星電気	C24	リックス	D67
オーム電機	E11	高松機械工業	D63	日東工器	C34	リフター	D47
岡谷銅機	C05	高丸工業	E34	日本ベアリング	D36	リモートロボティクス	E08
*新エフエイコム		タキゲン製造	C65	日本ストラタステクノロジー	C61	リンケージ	E19
沖電線	E71	田口鉄工所	E37	日本精工	D26	リンスコネット	E69
オリエンタルモーター	C16	竹中電子工業	C36	日本トムソン	E56	*メッツコネット	
*オリムペクスタ		タツタ電線	C43	日本ピスコ	C11	レニショー	E70
オリオン機械	E45	タナック	E47	日本ロボットシステムインテグレーション協会	E21	ROSECC	E28
か		タマディック	E51	ノガ・ウォータース	C66	*KLASS	
カサイ製作所	E31	チトセロボティクス	E09	は		ROKAE精機	C50
*カサイエレクト		中央工機		ハーモニックドライブ・システムズ	D29	ロブテックス	E61
*マルセン		*Cambrianビジョンシステム		ハイウィン	D05	robot digest	E76
カトウ工機	C41	*Standard robots	E03	ハイデンハイン	C54		
カネキタ	D43	*Mujin		パスカル	E53		
		*ユニバーサルロボット		羽根田商会	E44		

※(株)、(有)などは省略 ※「*」は共同出展者

